

二本松市の小学校及び中学校の適正配置について（答申）

## 別冊資料

---

・二本松市立小学校及び中学校適正規模等調査検討会委員名簿	P 1
・二本松市立小学校及び中学校適正規模等調査検討会の経過	P 2
・二本松市の小学校の適正規模について（答申）	P 4
・二本松市の児童生徒数の推移（推計）	P 6
・二本松市小・中学校 児童生徒数の推移（令和5～15年度）	P 7
・これからの時代の学びについて	P 14
・地域の中で学ぶ子どもたち	P 15
・「小中一貫校」と「義務教育学校」について	P 16

## 二本松市立小学校及び中学校適正規模等調査検討会委員名簿

◆令和5年度

(敬称略)

番号	選出区分	氏名	所属役職
1	学識経験者	(副会長) 坂本 篤史	福島大学人間発達文化学類准教授
2	学識経験者	高野 孝男	福島大学人間発達文化学類附属 学校臨床支援センター特任教授
3	学識経験者	渡邊 真魚	日本大学工学部総合教育教授
4	学識経験者	(会長) 青田 誠	元福島県教育庁県中教育事務所長
	保護者	6名	(二本松市内より選出)
	学校関係者	5名	(市立小・中学校等より選出)
	地域関係者	4名	(二本松市内より選出)

## 二本松市立小学校及び中学校適正規模等調査検討会の経過（適正配置について）

---

令和元年度から令和4年度にかけて8回の検討会を開催し、「適正規模」の検討を進め、令和5年2月に答申を提出いたしました。

令和5年度は適正配置について検討を進め、その検討経過は次のとおりです。

### ■第9回検討会

日 時 令和5年5月22日（月）14：00

場 所 二本松市役所正庁

議 事

- （1） 「適正配置」検討における基本的考え方について（小中一貫教育制度について）
- （2） 今後のスケジュールについて

### ■第10回検討会

日 時 令和5年7月25日（火）14：00

場 所 二本松市役所正庁

議 事

- （1） 安達地域の現状と今後について
- （2） 東和地域の現状と今後について
- （3） スケジュールの変更について

### ■第11回検討会

日 時 令和5年8月23日（火）14：00

場 所 二本松市役所正庁

議 事

- （1） 二本松地域の現状と今後について
- （2） グループワーク
- （3） 意見交換

### ■第12回検討会

日 時 令和5年9月27日（水）13：30

場 所 二本松市役所正庁

議 事

- （1） 岩代地域の現状と今後について

- (2) グループワーク
- (3) 意見交換

#### ■第13回検討会

日 時 令和5年10月13日(金) 14:00

場 所 二本松市役所正庁

議 事

- (1) 「適正配置」に係る答申案について
- (2) グループワーク
- (3) 意見交換

#### ■第14回検討会

日 時 令和5年11月6日(月) 14:00

場 所 二本松市役所正庁

議 事

- (1) 「適正配置」に係る答申案について
- (2) その他

## 二本松市の適正規模について（答申）

令和5年2月、本適正規模等調査検討会において、本市における適正規模の基本的な考え方について下記の答申を教育長に提出いたしました。今般の適正配置の検討は、この答申を踏まえて行われました。

### ○二本松市の小中学校の適正規模について【答申】

国や県の学級編制の基準を勘案し、一般的な適正規模の見解を示せば、1学級の児童生徒数については、クラス替えやグループ編成を可能とする「10名～20名」以上を想定することが望ましいと考えます。また、1学年の学級数については、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を越えた集団が形成したりできる

小学校では、1学年に2学級以上 全体で12学級以上

中学校では、1学年に2学級以上 全体で6学級以上が望ましいと考えます。

一方で上記に示した見解は、複式学級を回避することを優先するがあまり、場合によっては、地域から学校がなくなるという結果をもたらすことにもつながりかねません。本市は、平成17年度に1市3町が合併し、それぞれの地域の独自性や多くの多様性を認め合いながら、市民の協働による魅力ある地域づくりが図られてきている経緯を踏まえれば、地域から学校がなくなる可能性を秘めた方針を軽々に示すことは避けなければなりません。

小規模校を中心とした児童生徒や保護者、地域の方々からいただいた「適正規模についての意識調査内容」並びに「小学校適正規模に関する意見を聞く会の意見聴取内容」からは、

- ・学校生活の中で、先生方の温かく細やかな指導助言をいただいている。（保護者）
  - ・学習面でも、一人一人へきめ細やかに目をかけていただいている。（保護者）
- など、複式学級に対して肯定的な意見を多くいただきました。

他方、複式学級における課題としては、

- ・複数学年の指導を同時に行うのは教えにくい。（教職員）
  - ・児童生徒に、積極性や社会性等を育みにくい。（保護者・教職員）
- との指摘も示されております。

このような本市の実情や市民感情を踏まえ、本市の適正規模について、適正規模等調査検討会として、以下の通り見解を示します。

本市独自に、地域とともに持続可能な学校を目指すうえでは、学級数や学級の人数を数値化して規定し、それに基づき、適正配置を機械的に行うことは望ましいことではないと考えます。しかしながら、「主体的・対話的で深い学び」を基調とするこれからの教育の方向性を踏まえれば、これからの厳しい時代を生き抜く

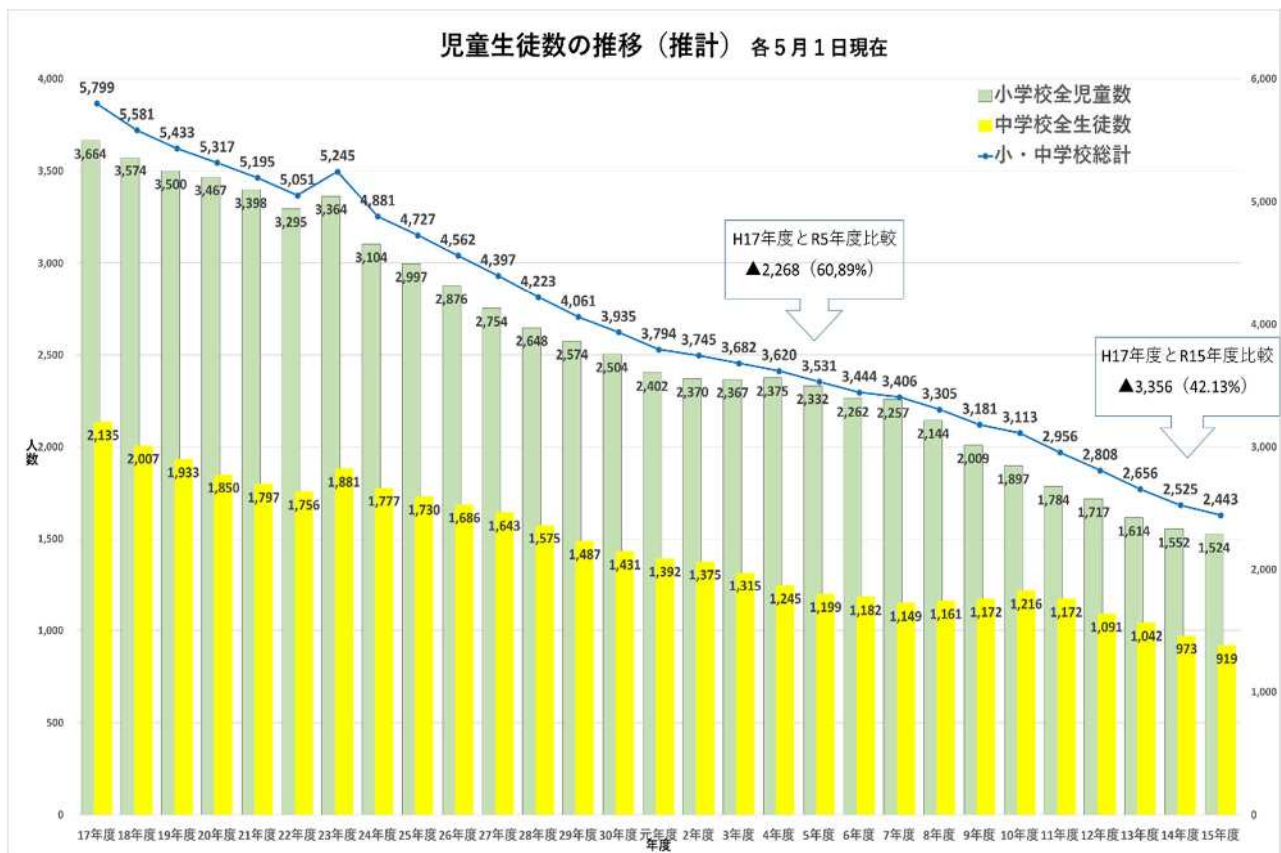
ための協働的な学びが必要不可欠であり、その実現のためには、各学年の最少人数は4名以上とすることが望ましいと考えます。したがって、各学校が各学年4名未満となった場合に、他学校とのICT（オンライン）活用などの試みも大切であり、学びの成果が認められない場合は、適正配置の段階で検討していく必要があると考えます。

また、児童生徒の学びの連続性や学びの深まりを考えれば、9年間の学習内容の系統性を踏まえた弾力的な教育課程とする「義務教育学校」或いは「小・中一貫校」も選択肢の一つとして検討する必要があります。

なお、本市の実情に即した少人数教育を更に充実させていくために、

- 1 児童生徒の向上心や社会性等の低下を改善、向上させていくために、実効性のある方策を示すこと。その際、ICT機器の活用やコミュニティスクールの活用等も視野に入れて検討すること。
  - 2 児童生徒が主体的に学ぶことができる複式学級の授業の質的改善について、更に教職員の研修を充実させること。
- に、同時進行で取り組む必要があることも申し添えます。

## 二本松市の児童生徒の推移（推計）



平成17年度から令和5年度までの児童生徒数の推移と、令和6年度から令和15年度まで今後10年間の児童生徒数の予測推移をグラフ化しております。令和5年度時点で1歳から6歳の人数を今後令和11年度まで入学する児童とし、令和12年度から15年度までの入学児童数は令和6年度以降の出生数を推計した数字となります。

平成17年度以後、児童生徒数は右肩下がり推移しています。令和5年度までに小学校で1,332人の減、中学校で936人の減、合わせて2,268人の減となっております。

令和5年度から令和15年度までを比較すると、小学校で808人の減、中学校で280人の減、合わせて1,088人の減と予測されます。

## 二本松市小・中学校別 児童生徒の推移（令和5～15年度）

### (1) 各学校別推移

#### ■小学校

単位：人

	R5度	R6度	R7度	R8度	R9度	R10度	R11度	R12度	R13度	R14度	R15度	増減数 R5:R15	増減率 R5:R15
二本松南小	239	256	253	241	231	229	210	197	190	187	182	▲ 57	76.2%
二本松北小	341	325	319	300	271	254	238	227	211	203	200	▲ 141	58.7%
塩沢小	81	76	71	60	53	50	41	36	36	32	34	▲ 47	42.0%
岳下小	166	151	156	139	133	125	131	131	125	127	131	▲ 35	78.9%
安達太良小	43	39	40	34	32	34	30	27	23	24	24	▲ 19	55.8%
原瀬小	43	47	47	48	42	41	41	34	31	25	28	▲ 15	65.1%
杉田小	199	197	197	179	176	173	165	161	152	153	144	▲ 55	72.4%
石井小	87	80	95	93	89	83	74	72	59	56	50	▲ 37	57.5%
大平小	87	80	75	78	68	68	72	70	68	65	65	▲ 22	74.7%
油井小	483	500	519	533	517	490	482	476	459	437	428	▲ 55	88.6%
渋川小	98	98	98	94	92	77	66	62	56	53	52	▲ 46	53.1%
川崎小	102	89	76	69	59	48	43	44	40	35	34	▲ 68	33.3%
小浜小	116	103	99	86	76	67	56	46	42	38	35	▲ 81	30.2%
新殿小	30	28	27	24	23	22	24	25	24	24	24	▲ 6	80.0%
旭小	17	13	7	7	7	9	8	8	8	8	8	▲ 9	47.1%
東和小	200	180	178	159	140	127	103	101	90	85	85	▲ 115	42.5%
小学校計	2,332	2,262	2,257	2,144	2,009	1,897	1,784	1,717	1,614	1,552	1,524	▲ 808	65.4%

#### ■中学校

	R5度	R6度	R7度	R8度	R9度	R10度	R11度	R12度	R13度	R14度	R15度	増減数 R5:R15	増減率 R5:R15
二本松一中	336	329	322	328	344	350	333	313	293	268	242	▲ 94	72.0%
二本松二中	123	112	102	86	87	86	88	73	84	83	84	▲ 39	68.3%
二本松三中	221	236	236	247	231	239	205	204	202	196	180	▲ 41	81.4%
安達中	294	288	282	303	331	368	380	356	325	316	312	18	106.1%
小浜中	74	75	70	66	56	57	50	47	42	36	29	▲ 45	39.2%
岩代中	39	35	33	31	27	17	16	14	17	15	16	▲ 23	41.0%
東和中	112	107	104	100	96	99	100	84	79	59	56	▲ 56	50.0%
中学校計	1,199	1,182	1,149	1,161	1,172	1,216	1,172	1,091	1,042	973	919	▲ 280	76.6%
合計	3,531	3,444	3,406	3,305	3,181	3,113	2,956	2,808	2,656	2,525	2,443	▲ 1,088	69.2%

小学校及び中学校児童生徒数について、今後10年間の推移を予測すると、安達中以外は減少が予測されます。中でも、塩沢小、川崎小、小浜小、旭小、東和小、小浜中、岩代中及び東和中については、50.0%以下まで減少することが予測されます。



(2) 年度別・各学校学年毎 児童生徒数推移

令和5年度

■小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	43	42	44	44	40	26	239
二本松北小	50	55	63	59	54	60	341
塩沢小	13	13	10	20	10	15	81
岳下小	21	32	21	35	21	36	166
安達太良小	4	6	6	9	7	11	43
原瀬小	6	7	7	9	7	7	43
杉田小	29	30	35	41	33	31	199
石井小	16	13	19	14	7	18	87
大平小	10	10	20	10	17	20	87
油井小	91	97	92	76	67	60	483
渋川小	18	27	11	15	14	13	98
川崎小	11	17	16	17	23	18	102
小浜小	16	15	19	23	14	29	116
新殿小	5	2	5	7	6	5	30
旭小	2	1	1	1	7	5	17
東和小	38	30	32	37	27	36	200
合計	373	397	401	417	354	390	2,332

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	117	111	108	336
二本松二中	40	34	49	123
二本松三中	83	68	70	221
安達中	87	110	97	294
小浜中	27	19	28	74
岩代中	10	15	14	39
東和中	41	30	41	112
合計	405	387	407	1,199

小中合計

3,531

令和6年度

■小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	43	43	42	44	44	40	256
二本松北小	44	50	55	63	59	54	325
塩沢小	10	13	13	10	20	10	76
岳下小	21	21	32	21	35	21	151
安達太良小	7	4	6	6	9	7	39
原瀬小	11	6	7	7	9	7	47
杉田小	29	29	30	35	41	33	197
石井小	11	16	13	19	14	7	80
大平小	13	10	10	20	10	17	80
油井小	77	91	97	92	76	67	500
渋川小	13	18	27	11	15	14	98
川崎小	5	11	17	16	17	23	89
小浜小	16	16	15	19	23	14	103
新殿小	3	5	2	5	7	6	28
旭小	1	2	1	1	1	7	13
東和小	16	38	30	32	37	27	180
合計	320	373	397	401	417	354	2,262

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	101	117	111	329
二本松二中	38	40	34	112
二本松三中	85	83	68	236
安達中	91	87	110	288
小浜中	29	27	19	75
岩代中	10	10	15	35
東和中	36	41	30	107
合計	390	405	387	1,182

小中合計

3,444

令和 7 年度

■小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	37	43	43	42	44	44	253
二本松北小	48	44	50	55	63	59	319
塩沢小	5	10	13	13	10	20	71
岳下小	26	21	21	32	21	35	156
安達太良小	8	7	4	6	6	9	40
原瀬小	7	11	6	7	7	9	47
杉田小	33	29	29	30	35	41	197
石井小	22	11	16	13	19	14	95
大平小	12	13	10	10	20	10	75
油井小	86	77	91	97	92	76	519
渋川小	14	13	18	27	11	15	98
川崎小	10	5	11	17	16	17	76
小浜小	10	16	16	15	19	23	99
新殿小	5	3	5	2	5	7	27
旭小	1	1	2	1	1	1	7
東和小	25	16	38	30	32	37	178
合計	349	320	373	397	401	417	2,257

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	104	101	117	322
二本松二中	24	38	40	102
二本松三中	68	85	83	236
安達中	104	91	87	282
小浜中	14	29	27	70
岩代中	13	10	10	33
東和中	27	36	41	104
合計	354	390	405	1,149

小中合計  
3,406

令和 8 年度

■小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	32	37	43	43	42	44	241
二本松北小	40	48	44	50	55	63	300
塩沢小	9	5	10	13	13	10	60
岳下小	18	26	21	21	32	21	139
安達太良小	3	8	7	4	6	6	34
原瀬小	10	7	11	6	7	7	48
杉田小	23	33	29	29	30	35	179
石井小	12	22	11	16	13	19	93
大平小	13	12	13	10	10	20	78
油井小	90	86	77	91	97	92	533
渋川小	11	14	13	18	27	11	94
川崎小	10	10	5	11	17	16	69
小浜小	10	10	16	16	15	19	86
新殿小	4	5	3	5	2	5	24
旭小	1	1	1	2	1	1	7
東和小	18	25	16	38	30	32	159
合計	304	349	320	373	397	401	2,144

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	123	104	101	328
二本松二中	24	24	38	86
二本松三中	94	68	85	247
安達中	108	104	91	303
小浜中	23	14	29	66
岩代中	8	13	10	31
東和中	37	27	36	100
合計	417	354	390	1,161

小中合計  
3,305

令和9年度

■小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	34	32	37	43	43	42	231
二本松北小	34	40	48	44	50	55	271
塩沢小	3	9	5	10	13	13	53
岳下小	15	18	26	21	21	32	133
安達太良小	4	3	8	7	4	6	32
原瀬小	1	10	7	11	6	7	42
杉田小	32	23	33	29	29	30	176
石井小	15	12	22	11	16	13	89
大平小	10	13	12	13	10	10	68
油井小	76	90	86	77	91	97	517
渋川小	9	11	14	13	18	27	92
川崎小	6	10	10	5	11	17	59
小浜小	9	10	10	16	16	15	76
新殿小	4	4	5	3	5	2	23
旭小	1	1	1	1	2	1	7
東和小	13	18	25	16	38	30	140
合計	266	304	349	320	373	397	2,009

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	117	123	104	344
二本松二中	39	24	24	87
二本松三中	69	94	68	231
安達中	119	108	104	331
小浜中	19	23	14	56
岩代中	6	8	13	27
東和中	32	37	27	96
合計	401	417	354	1,172

小中合計

3,181

令和10年度

■小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	40	34	32	37	43	43	229
二本松北小	38	34	40	48	44	50	254
塩沢小	10	3	9	5	10	13	50
岳下小	24	15	18	26	21	21	125
安達太良小	8	4	3	8	7	4	34
原瀬小	6	1	10	7	11	6	41
杉田小	27	32	23	33	29	29	173
石井小	7	15	12	22	11	16	83
大平小	10	10	13	12	13	10	68
油井小	70	76	90	86	77	91	490
渋川小	12	9	11	14	13	18	77
川崎小	6	6	10	10	5	11	48
小浜小	6	9	10	10	16	16	67
新殿小	1	4	4	5	3	5	22
旭小	3	1	1	1	1	2	9
東和小	17	13	18	25	16	38	127
合計	285	266	304	349	320	373	1,897

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	110	117	123	350
二本松二中	23	39	24	86
二本松三中	76	69	94	239
安達中	141	119	108	368
小浜中	15	19	23	57
岩代中	3	6	8	17
東和中	30	32	37	99
合計	398	401	417	1,216

小中合計

3,113

令和11年度

■小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	24	40	34	32	37	43	210
二本松北小	34	38	34	40	48	44	238
塩沢小	4	10	3	9	5	10	41
岳下小	27	24	15	18	26	21	131
安達太良小	0	8	4	3	8	7	30
原瀬小	6	6	1	10	7	11	41
杉田小	21	27	32	23	33	29	165
石井小	7	7	15	12	22	11	74
大平小	14	10	10	13	12	13	72
油井小	83	70	76	90	86	77	482
渋川小	7	12	9	11	14	13	66
川崎小	6	6	6	10	10	5	43
小浜小	5	6	9	10	10	16	56
新殿小	7	1	4	4	5	3	24
旭小	1	3	1	1	1	1	8
東和小	14	17	13	18	25	16	103
合計	260	285	266	304	349	320	1,784

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	106	110	117	333
二本松二中	26	23	39	88
二本松三中	60	76	69	205
安達中	120	141	119	380
小浜中	16	15	19	50
岩代中	7	3	6	16
東和中	38	30	32	100
合計	373	398	401	1,172

小中合計

2,956

令和12年度

■小学校 推計1

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	30	24	40	34	32	37	197
二本松北小	33	34	38	34	40	48	227
塩沢小	5	4	10	3	9	5	36
岳下小	21	27	24	15	18	26	131
安達太良小	4	0	8	4	3	8	27
原瀬小	4	6	6	1	10	7	34
杉田小	25	21	27	32	23	33	161
石井小	9	7	7	15	12	22	72
大平小	11	14	10	10	13	12	70
油井小	71	83	70	76	90	86	476
渋川小	9	7	12	9	11	14	62
川崎小	6	6	6	6	10	10	44
小浜小	6	5	6	9	10	10	46
新殿小	4	7	1	4	4	5	25
旭小	1	1	3	1	1	1	8
東和小	14	14	17	13	18	25	101
合計	253	260	285	266	304	349	1,717

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	97	106	110	313
二本松二中	24	26	23	73
二本松三中	68	60	76	204
安達中	95	120	141	356
小浜中	16	16	15	47
岩代中	4	7	3	14
東和中	16	38	30	84
合計	320	373	398	1,091

小中合計

2,808

令和13年度

■小学校 推計2 推計1

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	30	30	24	40	34	32	190
二本松北小	32	33	34	38	34	40	211
塩沢小	5	5	4	10	3	9	36
岳下小	20	21	27	24	15	18	125
安達太良小	4	4	0	8	4	3	23
原瀬小	4	4	6	6	1	10	31
杉田小	24	25	21	27	32	23	152
石井小	9	9	7	7	15	12	59
大平小	10	11	14	10	10	13	68
油井小	69	71	83	70	76	90	459
渋川小	8	9	7	12	9	11	56
川崎小	6	6	6	6	6	10	40
小浜小	6	6	5	6	9	10	42
新殿小	4	4	7	1	4	4	24
旭小	1	1	1	3	1	1	8
東和小	14	14	14	17	13	18	90
合計	246	253	260	285	266	304	1,614

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	90	97	106	293
二本松二中	34	24	26	84
二本松三中	74	68	60	202
安達中	110	95	120	325
小浜中	10	16	16	42
岩代中	6	4	7	17
東和中	25	16	38	79
合計	349	320	373	1,042

小中合計

2,656

令和14年度

■小学校 推計3 推計2 推計1

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	29	30	30	24	40	34	187
二本松北小	32	32	33	34	38	34	203
塩沢小	5	5	5	4	10	3	32
岳下小	20	20	21	27	24	15	127
安達太良小	4	4	4	0	8	4	24
原瀬小	4	4	4	6	6	1	25
杉田小	24	24	25	21	27	32	153
石井小	9	9	9	7	7	15	56
大平小	10	10	11	14	10	10	65
油井小	68	69	71	83	70	76	437
渋川小	8	8	9	7	12	9	53
川崎小	5	6	6	6	6	6	35
小浜小	6	6	6	5	6	9	38
新殿小	4	4	4	7	1	4	24
旭小	1	1	1	1	3	1	8
東和小	13	14	14	14	17	13	85
合計	242	246	253	260	285	266	1,552

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	81	90	97	268
二本松二中	25	34	24	83
二本松三中	54	74	68	196
安達中	111	110	95	316
小浜中	10	10	16	36
岩代中	5	6	4	15
東和中	18	25	16	59
合計	304	349	320	973

小中合計

2,525

令和15年度

■小学校 推計4 推計3 推計2 推計1

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
二本松南小	29	29	30	30	24	40	182
二本松北小	31	32	32	33	34	38	200
塩沢小	5	5	5	5	4	10	34
岳下小	19	20	20	21	27	24	131
安達太良小	4	4	4	4	0	8	24
原瀬小	4	4	4	4	6	6	28
杉田小	23	24	24	25	21	27	144
石井小	9	9	9	9	7	7	50
大平小	10	10	10	11	14	10	65
油井小	67	68	69	71	83	70	428
渋川小	8	8	8	9	7	12	52
川崎小	5	5	6	6	6	6	34
小浜小	6	6	6	6	5	6	35
新殿小	4	4	4	4	7	1	24
旭小	1	1	1	1	1	3	8
東和小	13	13	14	14	14	17	85
合計	238	242	246	253	260	285	1,524

令和5年度の状況と、令和6年度から15年度までの学年毎の児童生徒数の推移について予測すると、令和15年度には複式学級が存在する学校は、小学校が9校と予測されます。

また、複式学級以外で10人以下の学級が存在する学校は、中学校が2校と予測されます。

■中学校

	1年生	2年生	3年生	合計
二本松一中	71	81	90	242
二本松二中	25	25	34	84
二本松三中	52	54	74	180
安達中	91	111	110	312
小浜中	9	10	10	29
岩代中	5	5	6	16
東和中	13	18	25	56
合計	266	304	349	919

小中合計

2,443

## これからの時代の学びについて

### 予測を超えた社会進展、変化の中を生き抜かなければならない子どもたち

- 社会や産業の構造的な変化、人工知能（A I）の発達
- 今ある職業の半分はA Iに取られてなくなる。
- 集中豪雨や台風、地震等の大災害の頻発
- 生命や健康、社会を脅かす未知なるウィルスの発生
- 国際化の進展、社会情勢の不安定化
- 東日本大震災及び原子力事故からの復興



私たちの予測を超えた社会進展、変化が急速に進み、今までの経験値や体験値では乗り越えられない課題が山積し、今ある生活、明日の未来の補償はない時代が始まっています。子どもたちは、この予測不可能な厳しい時代を生き抜いていかなければならないのです。

### 予測不可能な困難な時代を生き抜く力とは…



「読み・書き・計算」という言葉に代表されるように、基礎的な学力や知識はもちろん大切です。しかし、これからの時代を生き抜くためには、それにとどまってはいただけません。これからの時代では、常に新しい知識を自ら見つけて学び続け、知識を更新することが求められます。そのためには、学校に

おいても、個人に一台配当されているタブレット等を活用し、新しい知識をその時、その状況で臨機応変に獲得しながら、解決を目指す力を育むことが求められます。

さらに、様々な困難な事象に向き合って解決するためには、個人一人で完結することは厳しく、仲間の存在が欠かせません。皆で考え、その時考えられる最適解を生み出すためには、複数の仲間と英知を出し合って試行錯誤し、よりよい課題解決を目指す力を身に付けさせることが必要なのです。

### これからの時代に求められる授業とは…



#### 〈今までの授業〉

- 教師が教える、伝える、指示する
- 画一的、一斉的な指導
- 教える人（子ども）、教えられる人（教師）の関係
- 覚える、知識を得ることを重視
- 教師の支援を得て子ども一人で学ぶことが可能



#### 〈これから求められる授業〉

- 子ども同士が関わり合いながら学ぶ
- 個別的、協働的な学び
- 学ぶ人（子ども）、学びを支える人（教師）の関係
- 知識を得て思考、判断し、表現・発信することを重視
- 4人以上の仲間が必要
- オンラインを効果的に活用

## 地域の中で学ぶ子どもたち

### 地域のコミュニティとしての学校の存在

学校は、地域の伝統や文化について子どもたちが学ぶことはもちろん、保護者や地域住民が集うコミュニティの場、要としての役割も担ってきました。学校教育は、地域の未来の担い手である子どもたちを育む営みであり、地域のまちづくりの在り方とも密接に関わってきています。



### 学校存続の危機

二本松市の高齢化率は35%を超えるなど、高齢化社会が加速度的に進むにしたがって、地域の活力が失われつつあります。

地域によっては、地域で育つ子どもの人数減少も著しく、学校の存続が危ぶまれている状況です。



### 学校が地域からなくなることの意味

学校が地域からなくなれば、地域の伝統や文化について学ぶ場所がなくなることはもちろん、保護者や地域住民の集いの場としての地域コミュニティの要がなくなることを意味します。

学校が存続しなければ、地域が疲弊してしまう可能性が極めて高いと思われます。



### 「学校の存続」と「子どもが学ぶこと」の関わり

学校を存続させ、地域の疲弊を防ぐことはもちろん大切ですが、予測不可能なこれからの時代を、力を合わせて生き抜く力をはぐくむための学びが成立しないことは、子どもたちの将来にとって、大きな問題であると考えます。

10年後を見据えたとき、「地域（二本松地域・安達地域・岩代地域・東和地域）への学校の存続」と「今求められる授業」の双方が成り立つための学校の在り方を、地域の皆さんと今後考えていく必要があります。



※ 「地域」とは・・・次の4つの地域

- 旧二本松市
- 旧岩代町

- 二本松地域
- 岩代地域

- 旧安達町
- 旧東和町

- 安達地域
- 東和地域



## 「小中一貫校」と「義務教育学校」

「小中一貫校」と「義務教育学校」は「小中一貫教育」を行う学校です。

「小中一貫教育」は「小中連携教育」のうちの一つになります。

**小中連携教育**「小・中学校が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育」

**小中一貫教育**「小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育」

**【小中一貫校】**組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を実施する形態  
それぞれに校長、教職員を有する学校

➡小学校6年間、中学校3年間の区切りがあります。

➡小学校は小学校免許の教員が、中学校は中学校免許の教員が授業を行います。

➡中学校教員が小学校で小学生に授業を行うことができます。

**【義務教育学校】**一人の校長の下、一つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間の目標を設定し、9年間を通じた教育課程を編成・実施する学校

➡小学校6年、中学校3年の区切りが無く、1～9年生となります。

➡原則、小学校と中学校両方の免許のある教員が授業を行います。

➡6年生以前から教科担任制にするなど、小学校6年間、中学校3年間に縛られず、子どもたちの発達に応じ、独自の区切り（4-3-2等）により教育課程を編成できます。

### ○小中一貫教育のメリット

- ・小学校から中学校への接続がスムーズに行うことができ、中1ギャップの緩和、解消が期待できます。
- ・異学年との交流機会が増え、手本となる中学生が身近にいることで小学生（憧れによる成長）、中学生（自己有用感を得る）双方に良い影響が期待できます。
- ・9年間継続的に指導することで、児童生徒の情報を共有しやすくなり、丁寧な指導が可能となります。
- ・特に義務教育学校では、子どもたちの実態や理解程度等に応じて、指導する時期（学年）や指導時数を柔軟に考えることができます。

### ○小中一貫教育のデメリット

- ・小学校と中学校の段差が無くなり、中学校の新鮮さが無くなります。
- ・9年間同じ学校となり、人間関係が固定化しやすくなります。
- ・義務教育学校では、6年生での「卒業」が無く、卒業の達成感が無くなります。
- ・義務教育学校では、5年生、6年生でも上級生がいるため、行事で重要な立場となる機会が減り、リーダーシップや自主性を養う機会が減少します。